

事業番号	15 02 01	事業改善シート (29年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	教員志願者採用選考・職員研修費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課	
		実施期間	S26 ~	E-mail	gimukyo@pref.nagano.lg.jp	
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)						
プロジェクト						
施策の総合的展開						

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	この数年大量退職が続く中、平成26年以降300人を超える教員を採用している状況であり、優秀な教職員の確保が課題である。	29年度決算額	5,164 千円						
		職員数	3.00 人						
目指す姿	二次選考試験において民間人面接官を起用するなど、人物の多面的かつ客観的な評価を行い、教員としての適性や一般社会人としての資質を適切に見極め、優秀な教員を確保するよう努める。また、事務職員及び栄養職員にキャリアに応じた研修を実施し、資質向上に努める。 (主な実施内容: 教員採用選考及び事務・栄養職員研修など)								
事業コスト	指標及びその達成状況								
	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度				
	予算額	前年度繰越					No		
		当初予算	4,498	4,357	5,164	5,112		成果指標	
		補正予算							27年度
		合計(A)	4,498	4,357	5,164	5,112			
	Aの財源	一般財源	4,498	4,357	5,164	5,112	29年度 目標値		
		県債						成果	
		国庫支出金							達成状況
		その他	0	0	0	0			
決算額(B)	4,498	4,357	5,164						
概算人件費	職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00				
	概算人件費(C)	24,828	24,828	24,306	24,306				
概算事業費(B(A)+C)	29,326	29,185	29,470	29,418					
成果指標設定理由									
目標に対する成果の状況									

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	(採用選考) ・「新たな社会を創造する力」を育む教育を推進するとともに、「探究的な学び」を実践し、豊かな人間性と確かな人権意識を有し、児童生徒・保護者・地域・同僚と協働できる教員の採用。 ・教員の年齢構成バランスに配慮した配置。(職員研修) ・より効果的な研修の工夫	(採用選考) ・探求的な学びを意識した模擬授業や、心理学等の専門的知見も踏まえた規範意識、人権意識、自己認識力、他者を理解する力等を考慮した面接を実施。 ・「地域に根ざした教育」を一層推進するとともに、年齢構成のバランス等、教員配置上の課題を解決するために、各ブロックの採用数を設定した採用を導入。 (職員研修) ・研修内容については、グループ討議の実施など、より効果的なものになるよう工夫改善を進める。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1		教員採用選考の実施	民間人面接官を起用するなど、多面的・客観的評価を行い、優れた人材の確保に努めた。	2.00	4,881	4,881	4,829
2		事務・栄養職員研修の実施	新規採用、中堅、役付等の事務・栄養職員を対象に、社会人、公務員の基礎、創造的問題解決、高度な専門知識等に関する研修会を実施。	1.00	283	283	283
合計				3.00	5,164	5,164	5,112

事業改善シート附表

事業番号 15 02 01	事業名 教員志願者採用選考・職員研修費	実施方法		29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施 状況	教育委員会事務局		課・室 義務教育課			<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 ■点検 総合5か年計画プロジェクト 県民協働事業改善					備考 (H29事業 番号)
		項目	実施方法				27年度 当初 (千円)	28年度 当初 (千円)	29年度 要求 (千円)	29年度 当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	番号	施策の 総合的 展開	予算 (千円)	実施 年度	
1	教職員採用試験		直接	民間人面接官を起用するなど、多面的・客観的評価を行い、優れた人材の確保に努める。	・1,841名(前年度1,838名)の志願者に対して選考を行い、364名(前年度317名)を採用した。二次選考では面接を重視しているが、民間人面接官を多数起用したことがより適切な人材確保に役立った。なお、31.3%に当たる114名を社会人枠(内訳:教職枠103名、民間11名)で採用し、講師経験や民間企業等での豊富な社会経験を生かし、教職に取り組んでいる。 ・民間企業関係者、市町村教育委員関係者など計100名余の民間人を含む面接官により、幅広い視点をもって、受験者の意欲、判断力、創造性、人間的魅力、専門性について個人面接を実施し、優れた人材の確保に努めた。	計画通り ○	4,215	4,074	4,136	4,881		4,881					150202
2	事務・栄養職員研修	経常経費	直接	新規採用、中堅、役付等の事務・栄養職員を対象に、社会人・公務員の基礎、創造的問題解決、高度な専門知識等に関する研修会を実施。	・新規採用者、主事・技師2級職(在籍期間5年以上)、主査昇任者、主幹昇任者のそれぞれの段階に応じた研修を開催し、119人の職員が参加した。 ・新規採用者や主事・技師等若手職員向けの研修では、レポートの提出により習熟度を確認した結果、基礎的な知識の修得、実務能力の向上、学校職員としての意欲の高揚、創造力の開発、問題の発見・解決能力の向上が確認できた。 ・主査昇任者や主幹昇任者向けの研修では、レポートの提出により習熟度を確認した結果、学校経営に参画するために必要な役付職員としての自覚や知識、行政視野の拡大が確認できた。 ・平成29年度は、上記研修のほか、新たに新規採用者の教育担当職員を対象とした研修会を開催し、18人の職員が参加した。	計画通り ○	283	283	283	283		283					150201
合 計							4,498	4,357	4,419	5,164	0	5,164			0		